

## 秀峰中等教育学校

6年間の一貫したカリキュラムで学ぶ県内初の「中等教育学校」として4月に開校した。大学進学を見据えた教育の下、知性や国際性を備えた人材育成を目指している。

教員が生徒一人一人の目標達成に向けて指導する学習システムを採用し、朝学習や個人補習などのきめ細かな学習を行っている。6年間で「基礎」「充実」「発展」の3段階の学習ステージに分け、週6日授業で教育の密度を高めている。3年次では高校相当の授業を一部先取りして学んでいる。

## 6年間で一貫教育

未来の日本や世界をリードする人材育成を目指す「建学の精神」に基づき、「特性・個性・才能の発見と育成」や「国際性の育成」など7つの教育目標を掲げている。中でも、既存の教育体制を抜本的に見直した「授業改革」に力を注ぎ、効率的なプログラムや電子黒板などの最新設備を導入した環境で生徒たちの学習習熟度を保障している。

英語教育を例に挙げれば、ALT(外国語指導助手)が週5日常駐し、ネイティブな英語に触れる機会を増やしている。年2回(1週間ずつ)、全校生徒が英語で生活する「イングリッシュウィーク」を設けるなどユニークな学校行事も多い。



英語教育の充実など独自の教育カリキュラムに取り組む松本秀峰中等教育学校